寛永行幸

寛永行幸から四百年。



寛永行幸四百年祭　おもな事業

式　典	9月5日	四百年の節目を祝う	地方連携	全国に広がる寛永文化のつながり
能楽公演	9月6日	天皇と将軍が並び見た能	装束復元	当時の装束と技
行　列	12月6日	御所と二条城をつなぐ	文化講座	歴史に学び美意識にふれる
展覧会	9月~11月	寛永文化の美と思想		

※行事日程、内容は予告なく変更する場合がございます。

「二条城行幸図屏風」部分（京都市指定文化財 泉屋博古館蔵）

発行：寛永行幸四百年祭実行委員会
https://kaneigyoko400.jp/
info@kaneigyoko400.jp

公式HP

2026年9月発行

御所と二条城が三度ずれながら重なり合うかたちをもとにしたものです。
文字は近衛信尋の書、ロゴマークは近衛忠大氏によるものです。

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan
文化庁 令和8年度「文化資源活用事業費補助金（全国各地の魅力的な文化財活用推進事業）」採択事業

四百年の歴史とともに、未来の京都へ



京都府知事
西脇 隆俊

寛永行幸から四百年の節目を迎える令和8年（2026年）、京都では寛永行幸の歴史的背景と文化的意義を踏まえ、その価値を現代に生かす取組を進めております。寛永期に育まれた多彩な文化は、多くの才能を生み、現在の京都の魅力にも確かにつながっています。
この節目を機に、当時の精神を見つめ直し、観光・文化・産業のさらなる発展へとつなげる「寛永行幸四百年祭」を京都全体で推進し、全国とも連携しながら、未来へ文化を受け継ぐ取組を進めてまいります。

京都は、文化と社会をつなぐ「学藝の府」



京都市長
松井 孝治

京都は世界有数の文化・芸術を磨き上げ、それが日常に息づく学藝の府です。ひらかれたまち柄のもと、時に異端とされたものも進取の気性と遊び心で受け入れ、このまちの学藝を深めてきました。
寛永行幸は、全国から京都に集った権力者だけでなく市井の文化人が担い手となり、今につながる多様な文化的価値を生み出し、社会を編み直すきっかけとなった歴史的転換点です。京都市といたしましても、この四百年祭を通じて学藝に更なる磨きをかけ、京都の本質的な価値や魅力を社会へとつないでまいります。

京都の「ほんまもん」の価値を次代へ



京都商工会議所会頭
堀場 厚

四百年前の寛永行幸は、京都に大きな活気とにぎわいをもたらした歴史的事業であり、人・文化・産業の交流を促し、新たな価値を生み出しました。さらに、朝廷や町衆を中心とした文化の興隆とともに、匠の技術が次代へと受け継がれる重要な転換点でもありました。
京都商工会議所は、「“ほんまもん”を結わう～変革と挑戦～」のスローガンのもと、次代を切り拓く挑戦を続けています。本四百年祭が、京都の真価を力強く発信し、未来への飛躍につながる契機となることを期待しております。

美意識が社会をかたちづくる

今なぜ寛永なのか。
寛永行幸は、文化が社会を整え、経済を動かし、人を磨く力として機能した、いま求められている社会モデルといえます。
全国から大名が集い、九千人に及ぶ行列が京都のまちを巡った寛永行幸。この時代には社寺の復興が進み、現在につながる京都の景観が形づくられていきます。巨大な文化事業をともに成し遂げた経験は京都にとどまらず全国へと広がり、多くの才能が開花しました。
本事業は、四百年前に京都で実現したこの構造を、未来社会の基盤として再びインストールする試みです。文化が本来持つ力を、現代の社会の中でふたたび機能させていくことを目指します。
「再現」や「復興」を通して、行列やもてなしを支えた技と営みを現代にふたたび立ち上げる。過去を振り返るのではなく、文化を現代を生きる力として再構築し、歴史的な縁を手がかりに、地域や分野を越えた人々が交わる場をひらきます。
美意識は、社会のかたちを整える力です。本事業が、その力を現代にひらき、未来の基盤をともに構想する起点となることを願っております。

寛永行幸四百年祭総合プロデューサー　濱崎 加奈子

監修・顧問 特別顧問	熊倉 功夫	文化監修	近衛 忠大	有職監修	山科 言親
礼法監修	小笠原 清基	美術史監修	実方 葉子	行列文化監修	西山 剛

文化が社会を動かす構造を現代にひらく

寛永3年（1626年）、徳川将軍家が後水尾天皇を二条城に招いた「寛永行幸」は、
戦乱の世をのりこえ、文化と産業が華開く時代の到来を象徴する出来事でした。
公家と武家という二つの文化圏が京都で出合い、新たな秩序と美意識がかたちを得ました。

寛永行幸と、その後の寛永文化の広がりは、全国各地にその足跡を残しています。
本事業は、この精神を現代に手渡し、文化が社会を動かす力を、あらためて可視化する試みです。

文化
- 行列再現
- 装束復元
- 芸能復曲

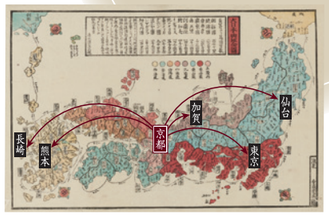
再現とは、形を戻すことではなく、
文化の構造をひらくことです。

交流圏
- 地方連携
- 講演会・文化サロン
- 人材育成

文化は、往来によってひらかれる。

経済
- 企業連携
- 伝統技術・産業の振興
- 価値創造

文化が経済を牽引する
都市モデル。



東京国立博物館提供画像

文化は
循環する